

## 第4回連合理事会議事録

文責 岩崎 学

日 時：2005年10月1日（土）15:30～18:15

場 所：統計数理研究所 特別会議室

出席者：

日本統計学会： 山本 拓, 竹村彰通  
応用統計学会： 清水邦夫, 広津千尋  
日本計算機統計学会： 垂水共之, 道家暎幸  
日本分類学会： 矢島敬二  
日本行動計量学会： 馬場康維, 岡太彬訓  
日本計量生物学会： 丹後俊郎, 岩崎 学

議事に先立ち、分類学会選出理事が林篤裕氏から山口和範氏に交代した旨の紹介があった。

横幹連合のNPO化の申請に携わられている横幹連合事務局長の井上雄一郎氏から法人化に関する話があり、その後いくつかの質疑応答が行なわれた。

統計数理研究所の栗木哲氏より、統数研の欧文誌 AISM の編集に対する統計関連学会連合への協力依頼があった。

### 議 事

#### 1. 連合大会

2005年度の広島大会が無事終わったこと、連合大会運営委員会で2006年度の大会が3学会の共催で東北大学にて2006年9月5日から8日の日程で行なわれること、実行委員長は東北大学経済学部のどなたか、企画委員長は東大経済学部の矢島美寛氏、事務局員としては応用統計学会および計量生物学会は今年度のメンバーがそのまま留任、統計学会は人選中であることが報告された。

2007年度（以降）の連合大会についての議論があり、種々の意見が出されたが今後の連合理事会にて継続して審議することとした。

#### 2. 統計数理研究所公開講座への協力

統計学会の山本会長から、統計数理研究所に対し夏期大学院講座開催の提案をしていて、統数研は前向きであるのでそれをあわせて検討することとした。

#### 3. ジャーナルについて

統計連合としてもジャーナルの件について対処する必要があるとの認識で一致し、ジャ

ーナル委員会（仮称）を立ち上げて議論することとした。委員会のメンバーとして各学会から編集理事を1名推薦してもらうよう要請することが決まった。

#### 4. 科学研究費

平成16年度の科学研究費への応募状況が報告され、各学会の会員へ科学研究費への応募を周知することとした。また、新学術会議会員に統計科学からは誰も選出されなかったことから、統計科学が危機的な状況にあることを共通の認識としてもちつつ対処することとした。

#### 5. 横幹連合

43学会からなる横幹連合のコンファランスが11月に長野で開催されるが、2006年度のコンファランスを統計関連学会で企画運営して欲しいとの話もあり、引き続き検討することとした。

#### 6. 法人化

関係法令の成立を待って再度議論することとした。

#### 7. その他

・統計関連学会連合の名簿の発行可能性についての意見があったが、今後の課題であるとされた。

#### 8. 次回連合理事会

2005年12月中に一度開催する方向で日程調整を行なう。